

Store People Detection Pack

ご利用マニュアル

NTTコミュニケーションズ株式会社

概要

AI-Appとは	… 4
Store People Detection Packとは	… 5

使ってみましょう

AI-Appの立ち上げ	… 7
TOPページの見方	… 8
権限の設定方法	… 10

立ち入り検知

機能TOP	… 12
結果の確認	… 13
新規設定	… 15
エリアの登録・編集	… 16
通知設定	… 17
設定の編集・削除	… 19

通過人数カウント

機能TOP	… 21
結果の確認	… 22
新規設定	… 25
ラインの登録・編集	… 26
設定の編集・削除	… 27
映像への遷移	… 28
表示範囲の変更	… 29

立ち入りカウント

機能TOP	… 31
結果の確認	… 32
新規設定	… 36
エリアの登録・編集	… 37
設定の編集・削除	… 38
映像への遷移	… 39
表示範囲の変更	… 40

CSVダウンロード

ダウンロードの方法	… 42
①CSVダウンロード	… 43
②CSVダウンロード (複数デバイス)	… 46

概要

『AI-App』とは

『AI-App（あいあっぷ）』とは、
お客さまの用途に応じてアプリケーションの切り替えができるAI機能の総称です。

@i-app

AI解析で様々な課題解決が可能な
アプリケーションを続々提供



safie **one**

エッジAIを搭載
リアルタイムに近い画像処理が可能に



『Store People Detection Pack』とは

『AI-App』 第一弾の『Store People Detection Pack』では、
下記3つの機能がご利用できます。



立ち入り検知

人の滞留を検知し通知します。
レジ前混雑や、POPに興味あるお客様をリアルタイムで知れるので、機会損失を軽減できます。



通過人数カウント

店舗の出入口に設置すると、通った人数を自動で集計。POSデータだけでは分からない、リアルな入店人数をカウントします。



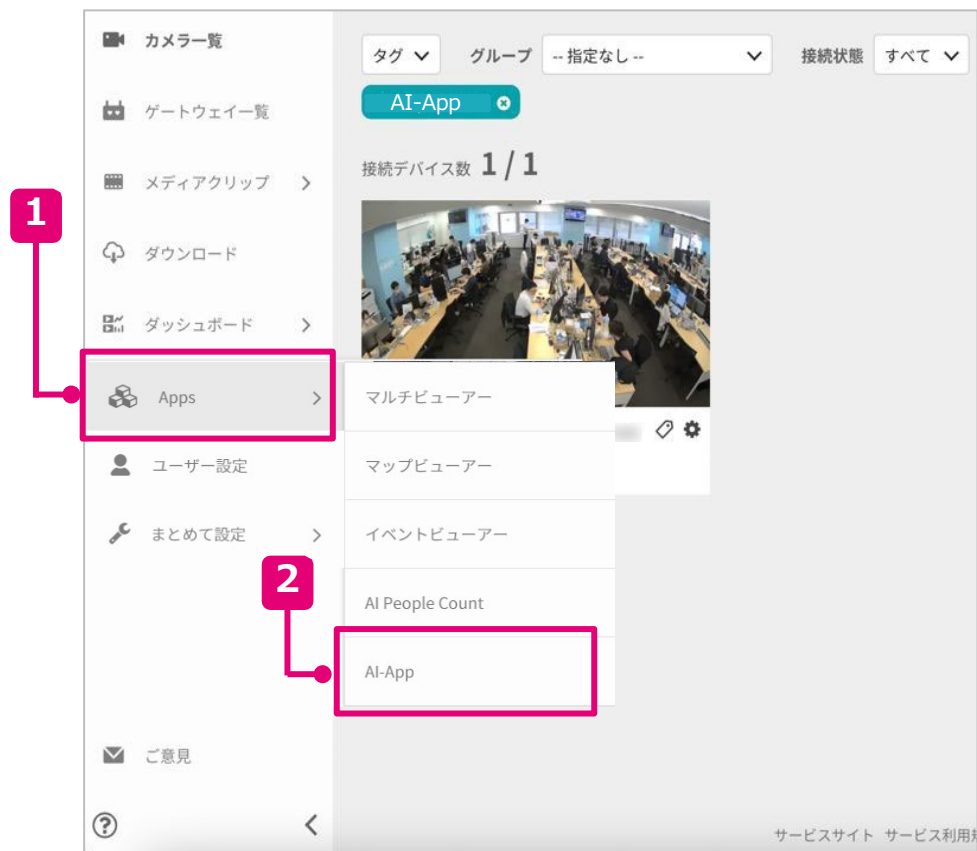
立ち入りカウント

特定のPOPや棚に設置すると、滞在している人数を自動で集計。グラフやデータダウンロードもでき、広告・商品分析業務に活用できます。

使ってみましょう！

AI-Appの立ち上げ

「AI-App」は、「Apps」内の専用画面でご利用いただけます。
以下の操作を行って、アプリを立ち上げてみましょう。



1 左メニュー「Apps」にカーソルを移動

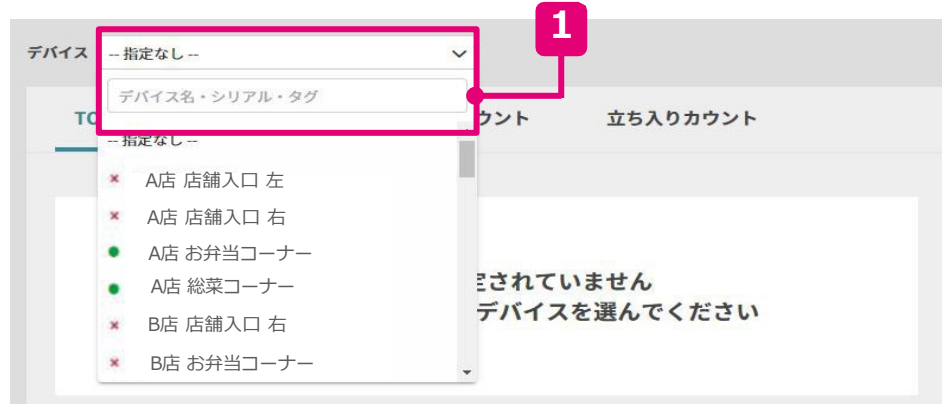
ビューワーにログインして、画面左のメニューの「Apps」にカーソルを合わせます。

2 「AI-App」をクリック

「Apps」内の「AI-App」をクリックします。
※ SafieOneをご契約されているオーナーもしくは、シェアされた一部のユーザーに表示されます。

TOPページの見方

「Apps」から立ち上げ時は、デバイスが未選択のため、確認したいデバイスを選択します。



1 デバイスを選択する

「指定なし」をクリックすると、ご契約されているSafieOneもしくは、シェアされたSafiOneが表示されます。デバイス名、シリアル、タグを入力し、絞り込みが可能です。選択するには、表示されているデバイス名をクリックします。

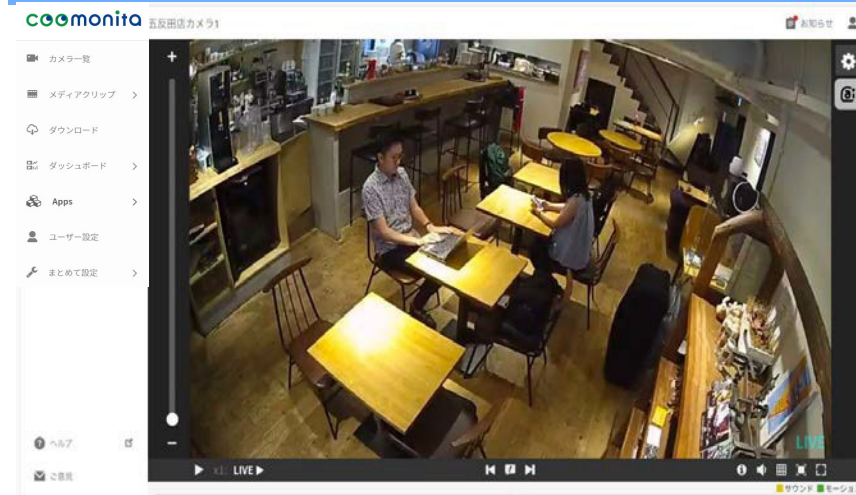
×・・・切断中
●・・・接続中

下記からAI-Appを立ち上げる場合は、デバイスが選択された状態となります。

① カメラ一覧>デバイス設定>AI-App>AI-App設定『検知の確認を行う』をクリック



② ストリーミング画面、右上 AI-Appアイコンをクリック



TOPページの見方

選択されているデバイスにおける設定の確認と管理ができます。

デバイス A店 店舗入口 左

TOP 立ち入り検知 通過人数カウント 立ち入りカウント

設定件数合計 3/8

立ち入り検知

カフェエリア

エリア カフェエリア

条件 2人以上が10秒以上滞留した場合に検知

通知設定 通知設定がされていません

通知の送り方

新規設定

結果一覧

通過人数カウント

カフェエリア通行

ライン カフェエリア通行

結果確認 新規設定

立ち入りカウント

カフェエリア右側

エリア カフェエリア右側

1 1つのデバイスの設定件数の上限は 8個

左図では、立ち入り検知、通過人数カウント、立ち入りカウントでそれぞれ1個ずつ、計3個設定されているため、設定件数合計は3/8と表示されます。

2 新規設定

各機能ごとに新規設定が可能です。

3 設定編集（歯車アイコン）

設定されている内容の修正が可能です。

4 結果一覧（立ち入り検知）

立ち入り検知の設定ごとに結果一覧が表示されます。確認したい設定の結果一覧（絞り込みが可能）に遷移します。

5 結果一覧（通過人数カウント、立ち入りカウント）

通過人数カウント、立ち入りカウントのページに遷移します。

シェアユーザーごとに、AI-Appの操作に対する権限を付与することができます。

シェアユーザーの権限設定

×

シェアデバイス:

シェアユーザー:

権限設定

自分のアカウントは権限を変更することができません

1

☒ 映像視聴 ?

☐ ライブ + 録画

☐ ライブのみ

☐ 不可

2

☐ シェアの追加・解除 ?

☐ 他ユーザー権限の変更 ?

☒ メディアクリップ視聴 ?

☒ データダウンロード ?

☒ データ作成・削除 ?

☒ デバイス設定の変更 ?

☒ イベント検知設定の変更 ?

☒ 映像解析設定の変更 ?

☒ 録画データの削除 ?

☐ 契約情報の閲覧 ?

1 「映像視聴」

「ライブ + 録画」に設定することで以下の操作が可能になります。

- TOPページの閲覧
- 検知結果の閲覧

2 「映像解析設定の変更」

1の閲覧設定に加えて、「映像解析設定の変更」にチェックを入れることで以下の操作が可能になります。

- 新規設定
- 既存設定の修正
- エリア/ラインの追加・編集

※ 閲覧権限のみの場合、新規設定や編集を行うボタンが画面に表示されません。

※ 通知の受信設定は閲覧権限のみで設定が可能です。

立ち入り検知

立ち入り検知 - 機能TOP

「TOP」の隣の「立ち入り検知」押すと、選択されているデバイスにおける「立ち入り検知」の結果を確認、新規設定を行う画面に遷移できます。



検知には、1分間のダウンタイムがあります。
検知後1分間は同じ設定での検知結果は表示されません。

1 デバイス選択

他のデバイスへの変更が可能です。

2 設定件数

選択されているデバイスの立ち入り検知での設定件数が表示されます。

3 新規設定

選択されているデバイスの立ち入り検知での新規設定が可能です。（詳細の設定方法は[P15](#)）

4 設定編集（歯車アイコン）

設定されている内容の修正が可能です。

5 結果

設定した条件での検知結果がサムネイルで表示されます。サムネイルをクリックすると該当の映像に遷移します。左から右へ過去の検知結果が表示されます。

サムネイルには、下記が描画されます。

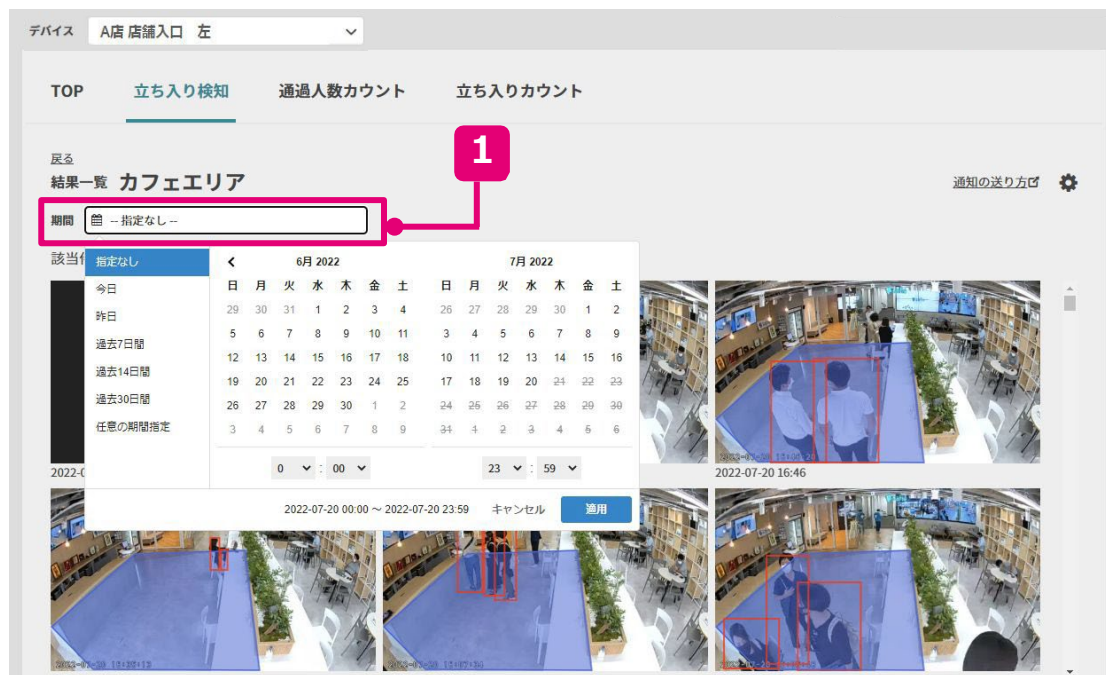
- ・設定したエリア
- ・設定した条件を満たした人物を囲う線

6 結果一覧

日時での絞り込み検索が可能です。（詳細は次ページ）

立ち入り検知 - 結果の確認一絞り込み検索

1日から最大180日まで検索が可能です。
検知結果は、プランに関わらず180日保存されています。



期間指定で時間を選択した場合は、それぞれの日にちで時間指定できるわけではないので、ご注意ください。

○ : 7/4 (月) 8:00 ~ 7/10 (日) 10:00

× : 7/4 (月) 8:00~10:00、7/5 (火) 8:00~10:00、7/6 (水) 8:00~10:00・・・

1 期間 カレンダーアイコン

1日選択の場合

→選択したい日にちを2回押す

時間指定がなければ、適用を押す

時間指定したい場合は、時間を選択後、適用を押す

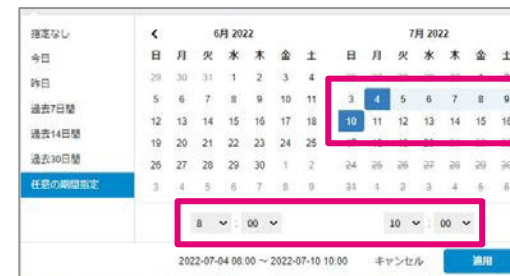


期間指定の場合

→期間を開始したい日にちを押す期間を終了したい日にちを押す

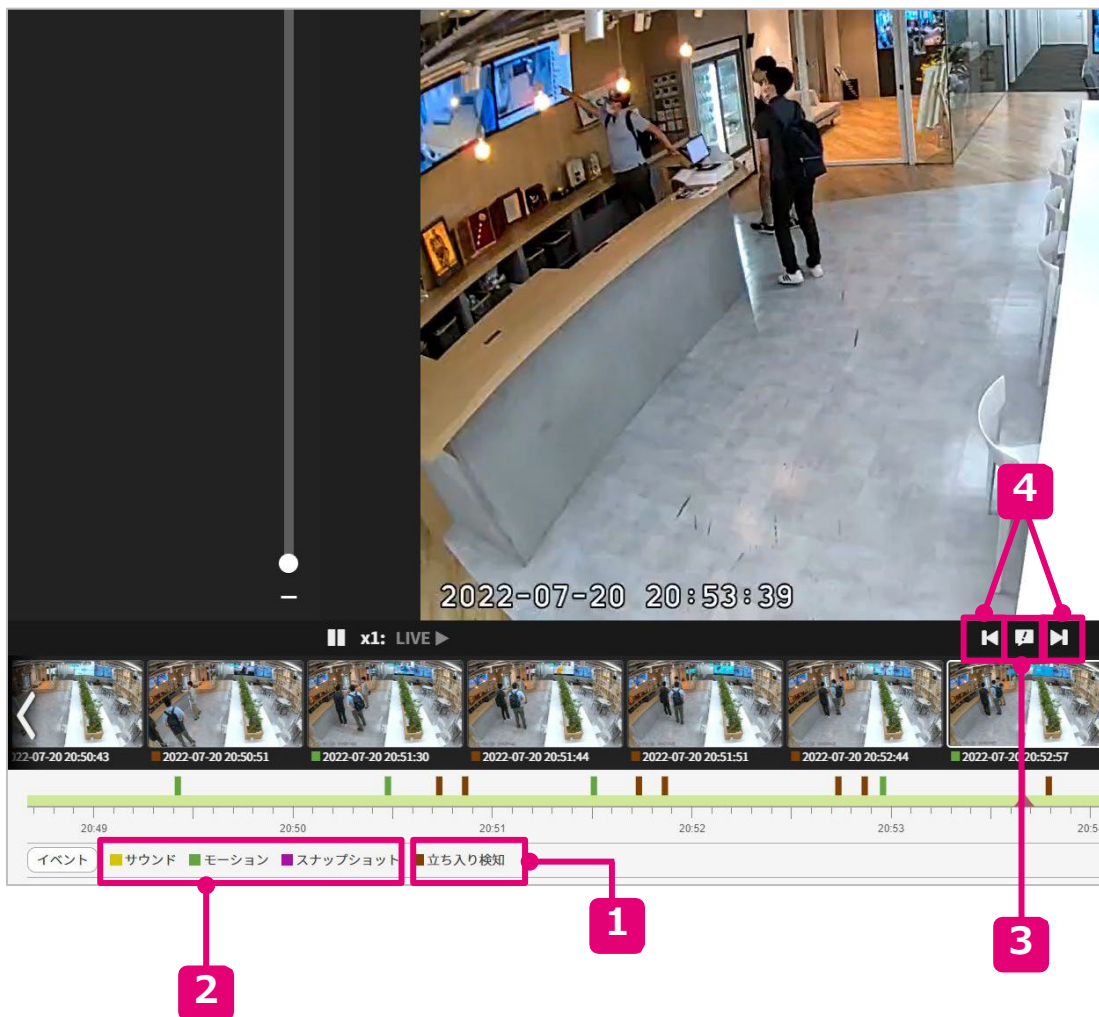
時間指定がなければ、適用を押す

時間指定したい場合は、時間を選択後、適用を押す



立ち入り検知 - 結果の確認ーイベント

ストリーミング映像上で、立ち入り検知のイベントを確認することができます。



1 イベント

設定した条件を満たした際に、立ち入り検知のイベントがタイムライン上に立ちます。設定を複数している場合も、イベントは1種類で表示されます。

2 他のイベント

他のイベントをクリックすると、タイムライン上の表示が消え立ち入り検知のイベントのみ表示することができます。

3 イベント一覧

イベント一覧をクリックすると、イベント発生時のサムネイルが表示されます。

4 イベントのスキップ

イベントを検知した時間にスキップします。



検知には、1分間のダウンタイムがあります。
検知後1分間は同じ設定でのイベントは立ちません。

立ち入り検知 - 新規設定

検知したいエリアを設定し、検知条件と通知設定の有無を選択します。

The screenshot shows the '立ち入り検知' (Entry Detection) settings screen. It includes a '基本設定' (Basic Settings) section with a camera feed and a '設定 立ち入り検知' (Settings Entry Detection) section. The settings are categorized into five numbered steps:

- 1 エリア設定** (Area Setting): A dropdown menu labeled 'エリア名を選択' (Select area name) with a link 'エリアの登録・編集' (Area registration/editing).
- 2 エリアの登録・編集** (Area registration/editing): A link to manage areas.
- 3 設定名** (Setting name): A text input field labeled '設定名 64文字以内で入力してください。' (Setting name, please enter within 64 characters) and '設定名を入力 (最大64文字)' (Enter setting name (max 64 characters)).
- 4 条件設定** (Condition setting): A section for setting detection conditions, including '1~20人で入力してください' (Please enter 1~20 people) and '0~180秒で入力してください' (Please enter 0~180 seconds).
- 5 通知設定** (Notification setting): A section for setting notifications, including a checkbox for '常に通知する' (Always notify), '通知開始時間' (Notification start time), '通知終了時間' (Notification end time), and '曜日' (Day of the week).

1 エリア設定

既に作成済みのエリアを使用する場合は、選択をします。

2 エリアの登録・編集

新規でエリアを作成する場合、クリックします。
(詳細の設定方法は[P16](#))

3 設定名

設定名が入力可能です。

4 条件設定

検知条件が入力可能です。

5 通知設定 (配信)

デフォルトは、通知なしで設定されています。
常に通知したい場合は、「常に通知する」にチェックします。通知を指定したい場合は、開始時間と終了時間を選択し、曜日にチェックします。

デバイスのオーナー、シェアされたユーザーに対して、一括で配信日時の設定が行われます。ユーザーごとの受信設定は、[P17](#)を参照ください。

立ち入り検知 - エリアの登録・編集

検知したいエリアの作成と編集が可能です。

※設定の編集により、設定は残したままエリアの変更や修正をした場合、
変更前の検知結果に変更後の検知結果が追加されていきます。



1 設定数

1つのデバイスで8個までエリアを登録することが可能です。作成したエリアは、立ち入り検知と立ち入りカウントの設定で使用が可能です。

2 新規作成

新規作成をクリックすると、右の映像内に、エリアを描画することができます。エリアを追加したい箇所をクリックすると編集が始まります。ダブルクリックでエリアを確定します。

3 エリア名

エリアを作成すると、エリア名の設定が可能になります。

4 編集

設定したエリア、もしくは、エリア名をクリックすることで、編集が可能です。

5 削除

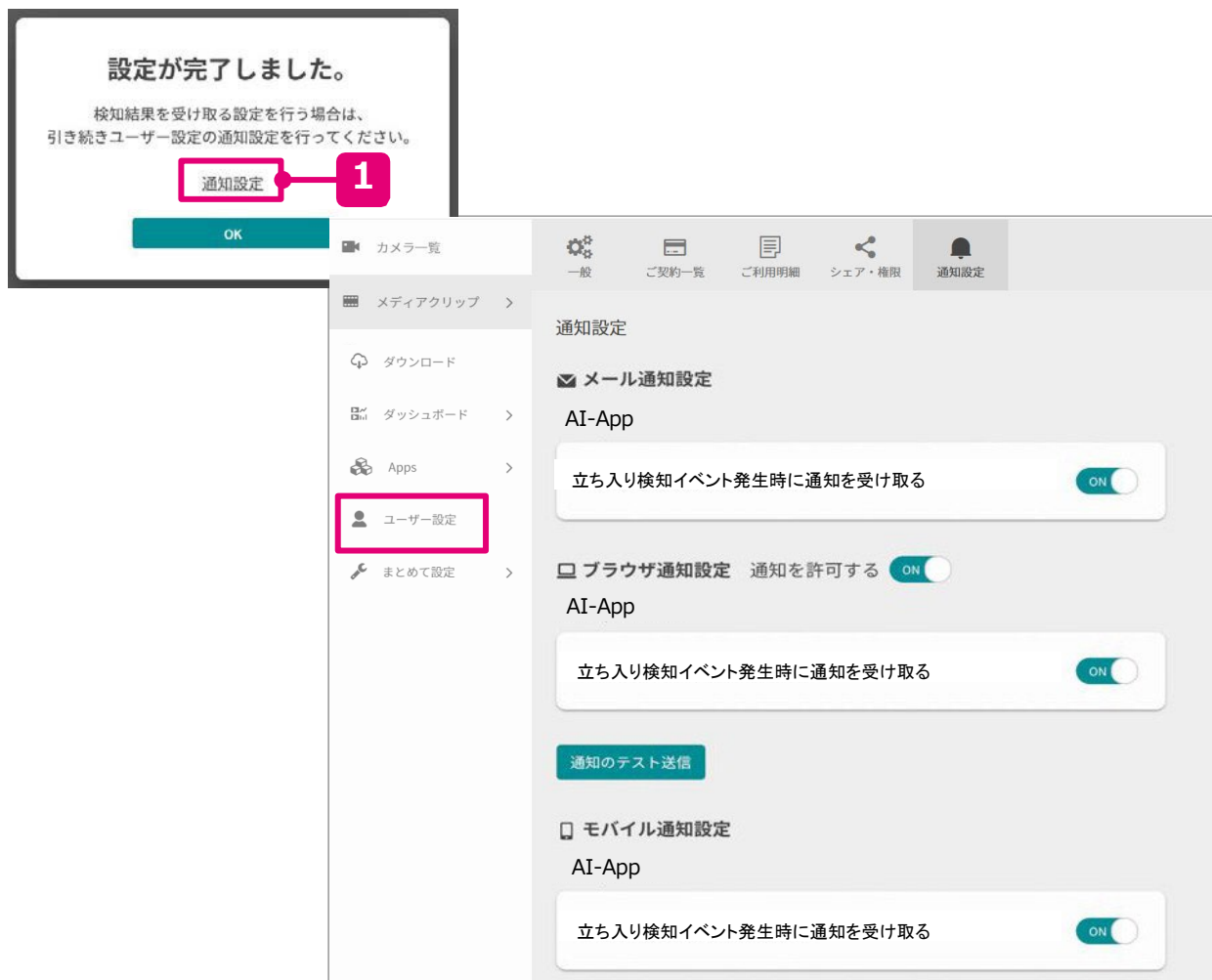
設定をクリックすると、設定したエリアとエリア名の削除が可能です。但し、立ち入り検知もしくは、立ち入りカウントの設定で使用されているエリアの削除はできません。

6 保存

保存をクリックすると設定したエリアが保存されます。

立ち入り検知 - 通知設定

ユーザーごとに受信設定が可能です。P15の通知設定では、デバイスのオーナー、シェアされたユーザーに対して、一括で配信日時の設定が可能です。



1 通知設定

P16の設定が保存されると、設定完了のメッセージが表示されます。その中の通知設定をクリックすると、下図の通知設定に遷移します。
既に設定が完了している場合は、左バナーの「ユーザー設定」から遷移します。

2 メール通知設定

ONにすることでアカウントのメールアドレスに通知が届きます。

3 ブラウザ通知設定

ONにすることでビューアーを閲覧中のブラウザのポップアップ通知が表示されます。

4 モバイル通知設定

ONにすることでセーフティーアプリをご利用のモバイル通知にプッシュ通知が表示されます。

立ち入り検知 - 通知内容

通知から該当映像を確認することができます。

メール

「映像をViewerで見る」をクリックすると該当映像に遷移します。



ブラウザ

通知をクリックすると該当映像に遷移します。

カメラ「五反田店」が立ち入りを検知しました。
エリア カフェエリア

モバイル

通知をクリックすると該当映像に遷移します。

カメラ「五反田店」が立ち入りを検知しました。
エリア カフェエリア

立ち入り検知 - 設定の編集・削除

編集もしくは、削除したい設定の歯車アイコンから編集・削除に遷移が可能です。

※設定を削除すると、検知結果を復元することはできません。

① Apps> AI-App> TOP> 歯車マーク



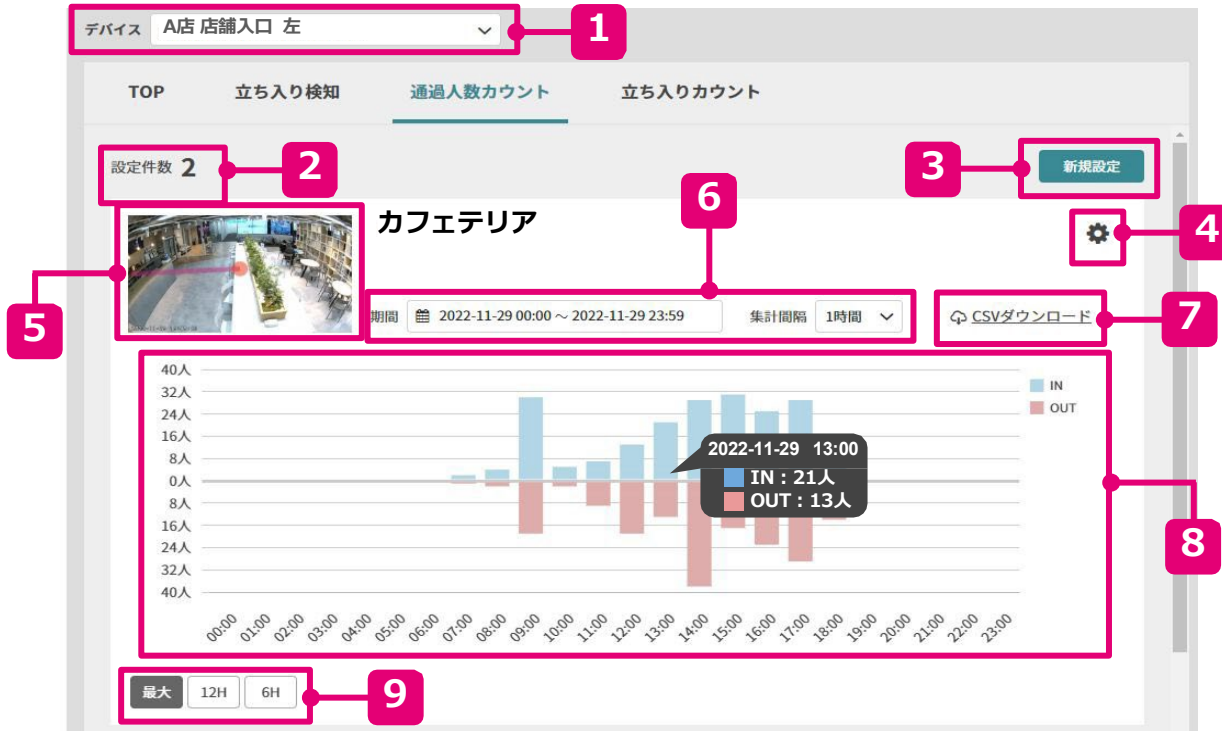
② Apps> AI-App> 立ち入り検知> 歯車マーク



通過人数カウント

通過人数カウント - 機能TOP

「TOP」並びの「通過人数カウント」押すと、選択されているデバイスにおける「通過人数カウント」の結果確認、新規設定を行う画面に遷移できます。



8 集計結果

設定が完了した時点から自動でグラフ化されます。
デフォルトは、当日の結果が1時間ごとに集計されています。例) 13時台→11:00～11:59:59にラインを通過した人数が集計棒にマウスを近づけると人数を確認することができます。
棒をクリックすると、映像に遷移します。(詳細は[P28](#))

9 表示範囲の変更

表示範囲の変更により、グラフを拡大して表示することができます。
(詳細は[P29](#))

1 デバイス選択

他のデバイスへの変更が可能です。

2 設定件数

選択されているデバイスの通過人数カウントでの設定件数が表示されます。

3 新規設定

選択されているデバイスの通過人数カウントでの新規設定が可能です。(詳細の設定方法は[P25](#))

4 設定編集 (歯車アイコン)

設定されている内容の修正が可能です。

5 サムネイル

選択しているデバイスのサムネイル画像に、設定したラインが描画されます。その右横には、設定名が表示されます。

6 集計方法

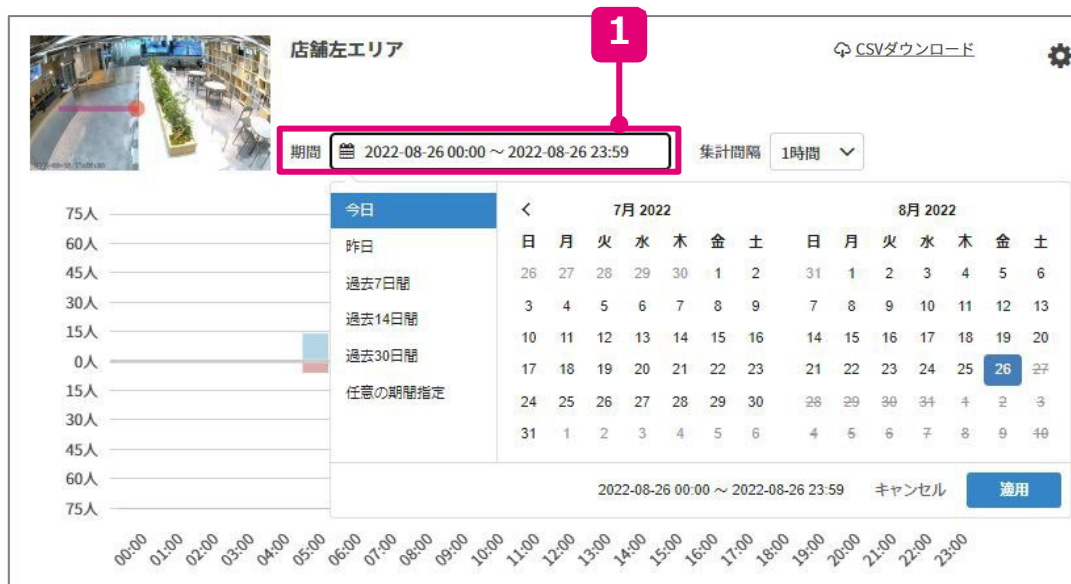
日時や集計間隔でのグラフ更新が可能です。
(詳細は次ページ)

7 CSVダウンロード

グラフにて選択した「期間」「集計間隔」でのダウンロードが可能 (詳細は[P42](#)～)

通過人数カウント - 結果の確認ー集計方法①

1日から最大180日まで選択が可能です。
検知結果は、プランに関わらず180日保存されています。



1 期間 カレンダーアイコン

1日選択の場合

→選択したい日にちを2回押し、適用を押す



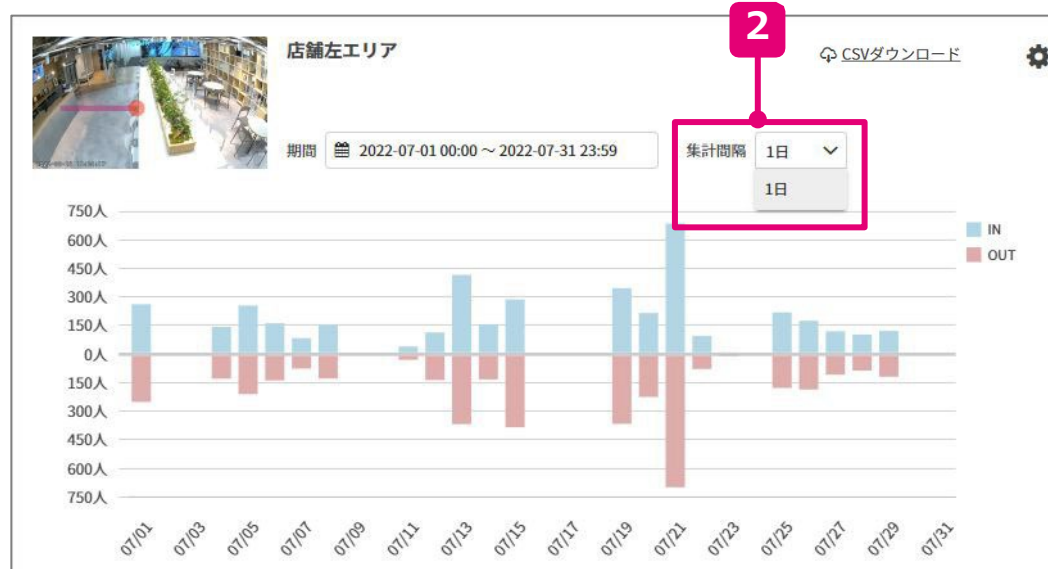
期間指定の場合

→期間を開始したい日にちを押す
期間を終了したい日にちを押し、適用を押す



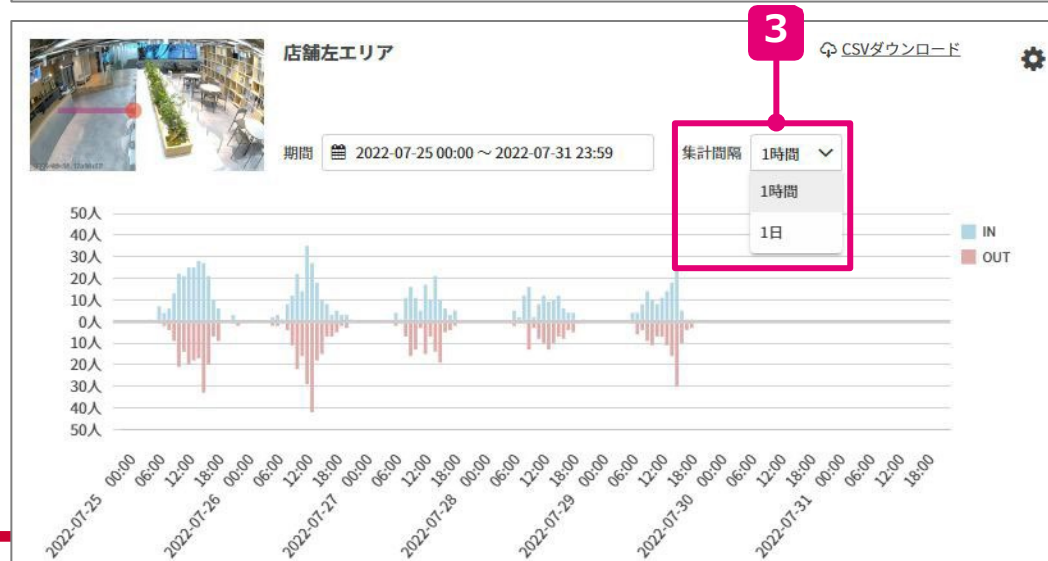
通過人数カウント - 結果の確認ー集計方法②

選択した期間によって、選択できる集計間隔が変わります。



2 期間集計 : 8日以上で選択した場合

→集計間隔は、1日のみとなります

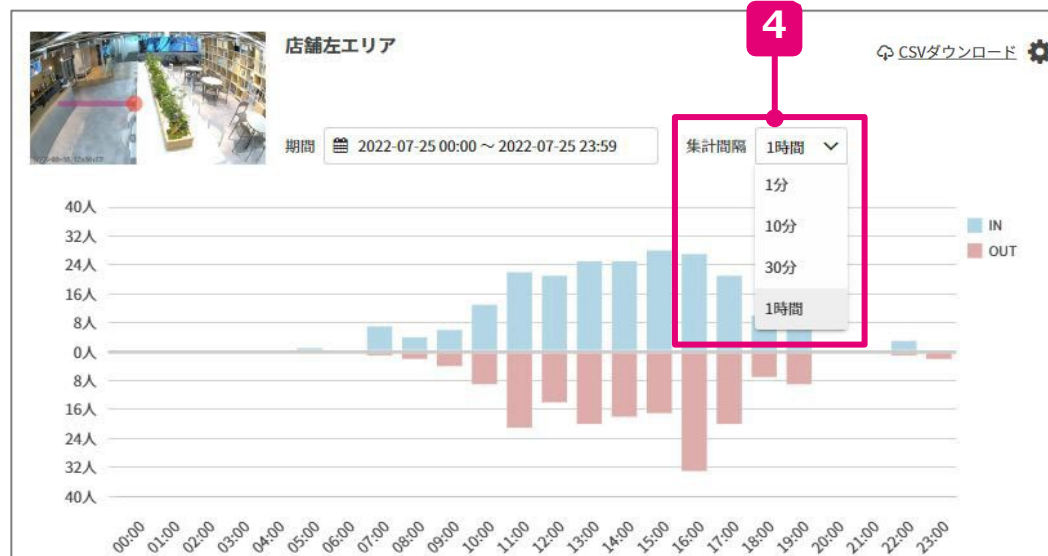


3 期間集計 : 2～7日で選択した場合

→集計間隔は、1時間か1日で選択が可能です

通過人数カウント - 結果の確認ー集計方法③

選択した期間によって、選択できる集計間隔が変わります。



4 期間集計：1日で選択した場合

→期間間隔は、1分、10分、30分、1時間から選択が可能です



5 集計間隔を1分で選択した場合

→表示時間帯（1時間）を選択します

通過人数カウント - 新規設定

検知したいラインを設定し、検知条件と通知設定の有無を選択します。

戻る

設定 通過人数カウント

基本設定



2023-09-30 10:31:56

1

ライン設定

2

ラインの登録・編集

ライン名を選択

3

設定名 64文字以内で入力してください。

設定名を入力 (最大64文字)

0 / 64

キャンセル 保存

1 ライン設定

既に作成済みのラインを使用する場合は、選択をします。

2 ラインの登録・編集

新規でラインを作成する場合、クリックします。
(詳細の設定方法は[P26](#))

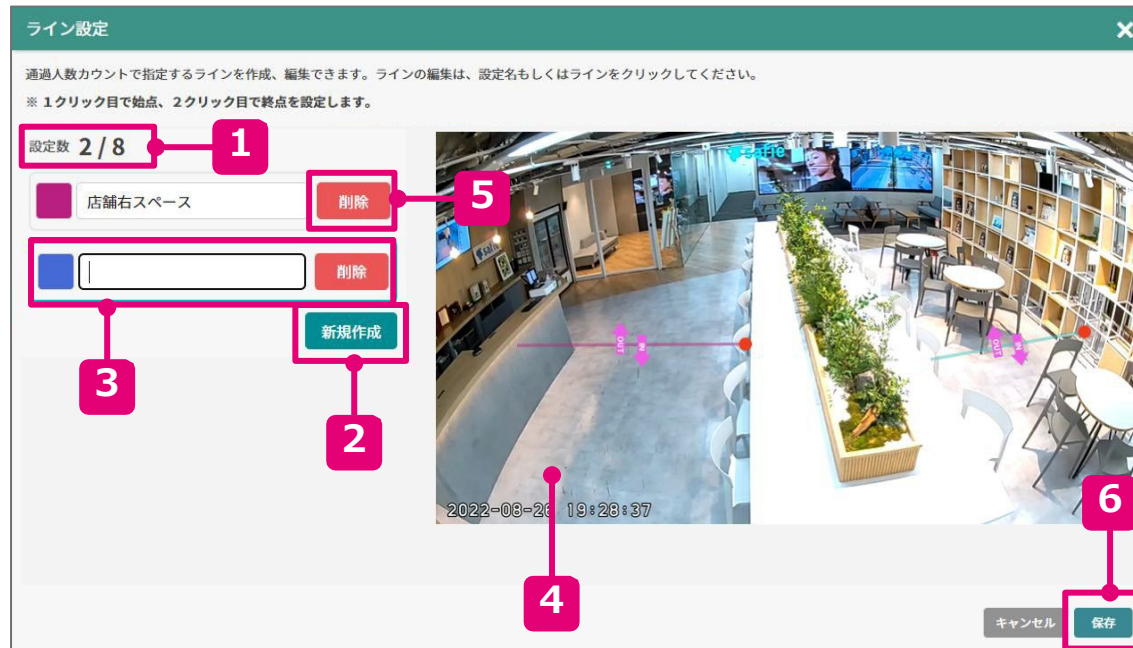
3 設定名

設定名が入力可能です。

通過人数カウント - ラインの登録・編集

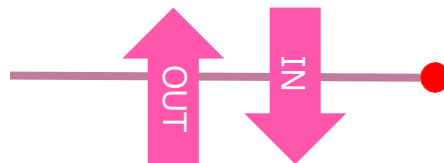
検知したいラインの作成と編集が可能です。

※設定の編集により、設定は残したままラインの変更や修正をした場合、変更前のカウント結果に変更後のカウント結果が追加されていきます。



ラインの上に表示されている「IN」「OUT」の矢印の方向に通過した人数がカウントされ、グラフの「IN」「OUT」の集計結果に反映されます。

例) 下記図の場合、ラインに対して上から下に通過した場合に、INとカウントされる



1

設定数

1つのデバイスで8個までラインを登録することが可能です。

2

新規作成

新規作成をクリックすると、右の映像内に、エリアを描画することができます。映像内でクリックすると描画がはじまります。

3

ライン名

ライン名の入力ができます。

4

編集

設定したライン、もしくは、ライン名をクリックすることで、編集が可能です。

5

削除

設定をクリックすると、設定したラインとライン名の削除が可能です。但し、設定で使用されているラインの削除はできません。

6

保存

保存をクリックすると設定したラインが保存されます。

通過人数カウント - 設定の編集・削除

編集もしくは、削除したい設定の歯車アイコンから編集・削除に遷移が可能です。

※設定を削除すると、カウント結果を復元することはできません。

① Apps> AI-App> TOP> 歯車マーク



② Apps> AI-App> 通過人数カウント> 歯車マーク



戻る

設定 通過人数カウント

基本設定



エリア設定 [エリアの登録](#)

A店 店舗入口 左

設定名 64文字以内で入力してください。

A店 店舗入口 左

キャンセル 保存

この設定を削除する

通過人数カウント - 映像への遷移

棒をクリックすることで、クリックした集計の開始時の映像に遷移が可能です。
例) 9時台の場合、9:00:00の映像に遷移する

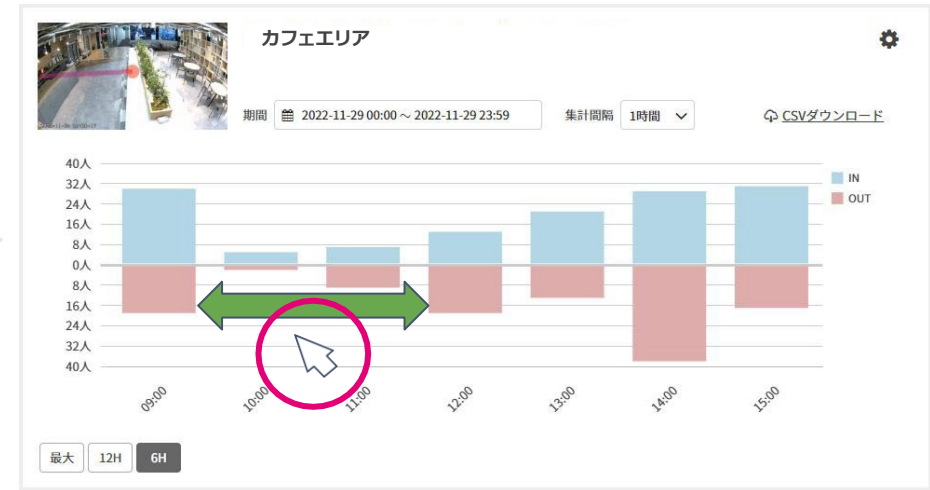
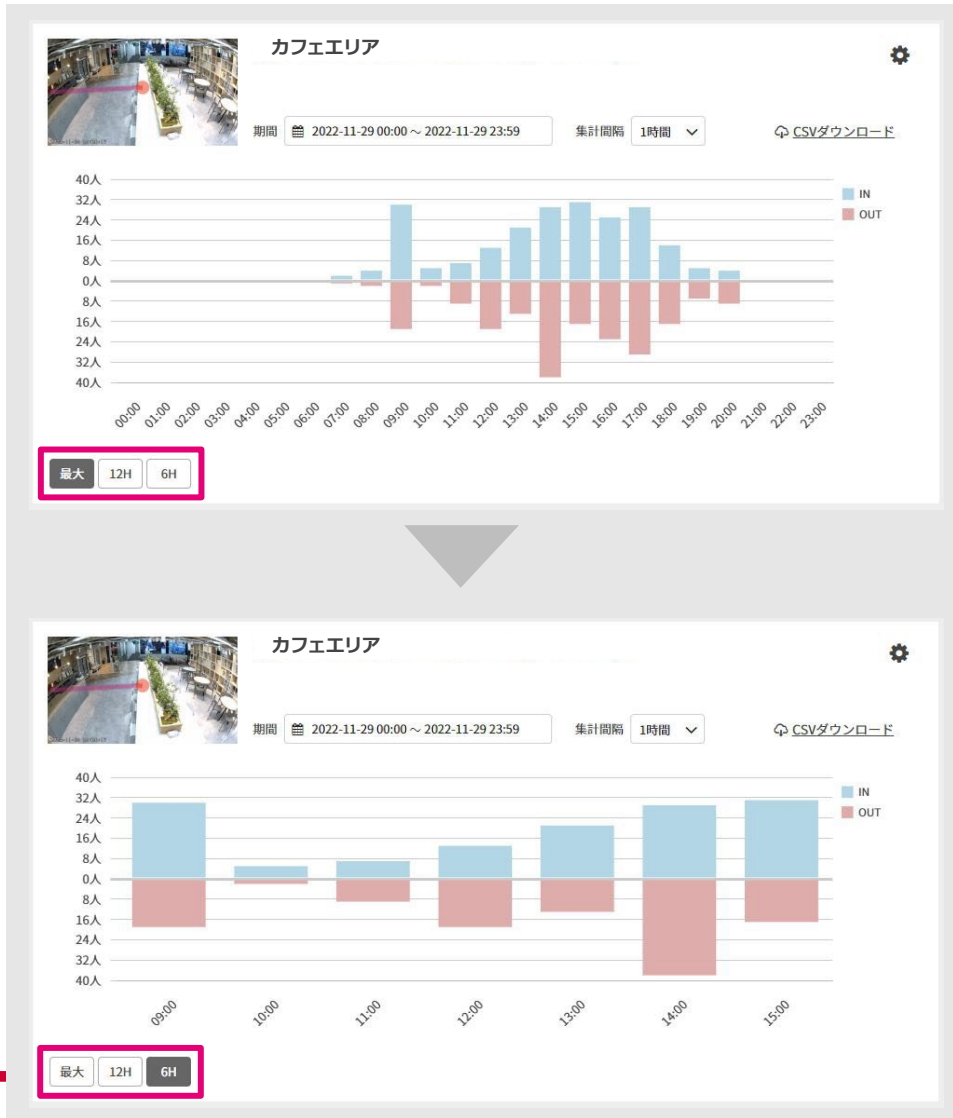


別タブで、映像に遷移します。

元のタブをクリックすることで、グラフが表示されているページに戻ることができます。

通過人数カウント - 表示範囲の変更

表示範囲の変更により、グラフを拡大して表示することができます。



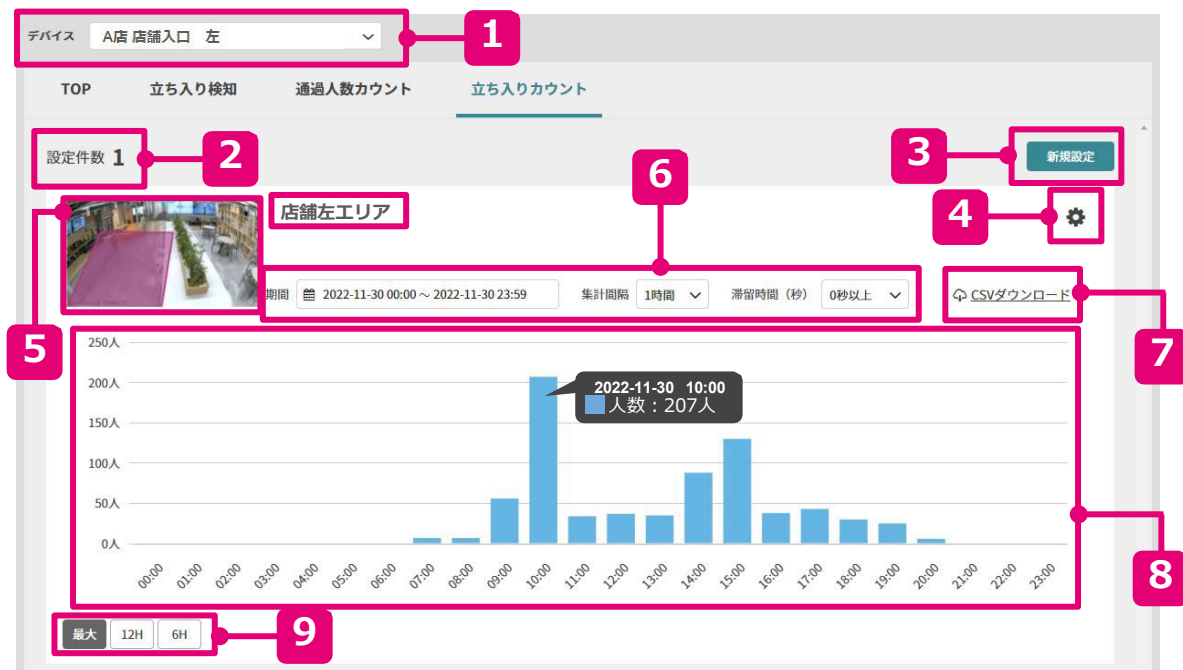
グラフが拡大された状態で、グラフ内をクリックしながら左右に動かすと前後の時間帯の結果を確認することができます。

「最大」を押すと、元のグラフの状態に戻ります。

立ち入りカウント

立ち入りカウント - 機能TOP

「TOP」並びの「立ち入りカウント」押すと、選択されているデバイスにおける「立ち入りカウント」の結果確認、新規設定を行う画面に遷移できます。



8 集計結果

設定が完了した時点から自動でグラフ化されます。
デフォルトは、当日の結果が1時間ごとに集計されています。
例) 11時台→11:00～11:59:59にエリアに入った人数が集計棒にマウスを近づけると人数を確認することができます。棒をクリックすると、映像に遷移します。
(詳細はP39)

9 表示範囲の変更

表示範囲の変更により、グラフを拡大して表示することができます。
(詳細はP40)

1 デバイス選択

他のデバイスへの変更が可能です。

2 設定件数

選択されているデバイスの立ち入りカウントでの設定件数が表示されます。

3 新規設定

選択されているデバイスの立ち入りカウントでの新規設定が可能です。(詳細の設定方法はP36)

4 設定編集 (歯車アイコン)

設定されている内容の修正が可能です。

5 サムネイル

選択しているデバイスのサムネイル画像に、設定したエリアが描画されます。その右横には、設定名が表示されます。

6 集計方法

日時や滞在時間でのグラフ更新が可能です。
(詳細は次ページ)

7 CSVダウンロード

グラフにて選択した「期間」「集計間隔」でのダウンロードが可能です。(詳細はP42～)

立ち入りカウント - 結果の確認ー集計方法①

1日から最大180日まで選択が可能です。
検知結果は、プランに関わらず180日保存されています。

1 期間 カレンダーアイコン

1日選択の場合

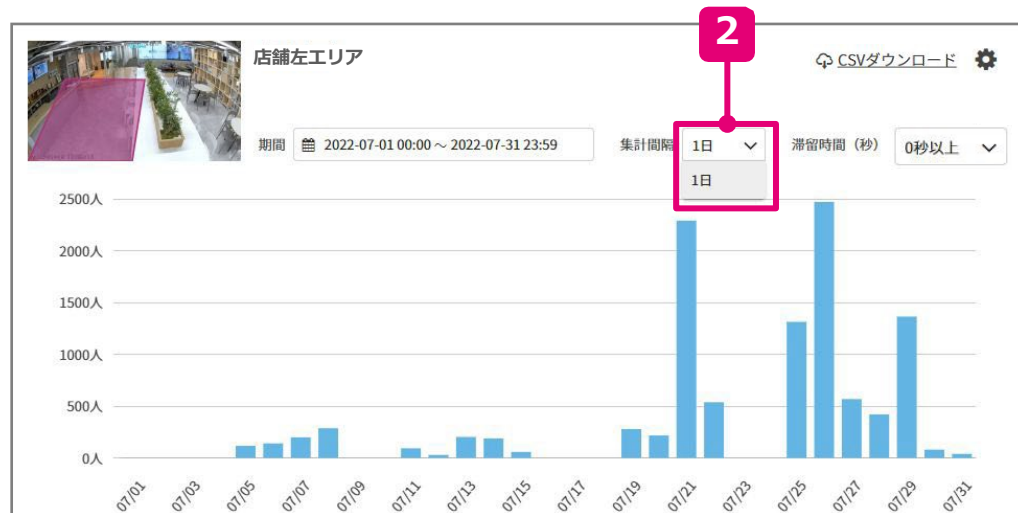
→選択したい日にちを2回押し、適用を押す

期間指定の場合

→期間を開始したい日にちを押す
期間を終了したい日にちを押し、適用を押す

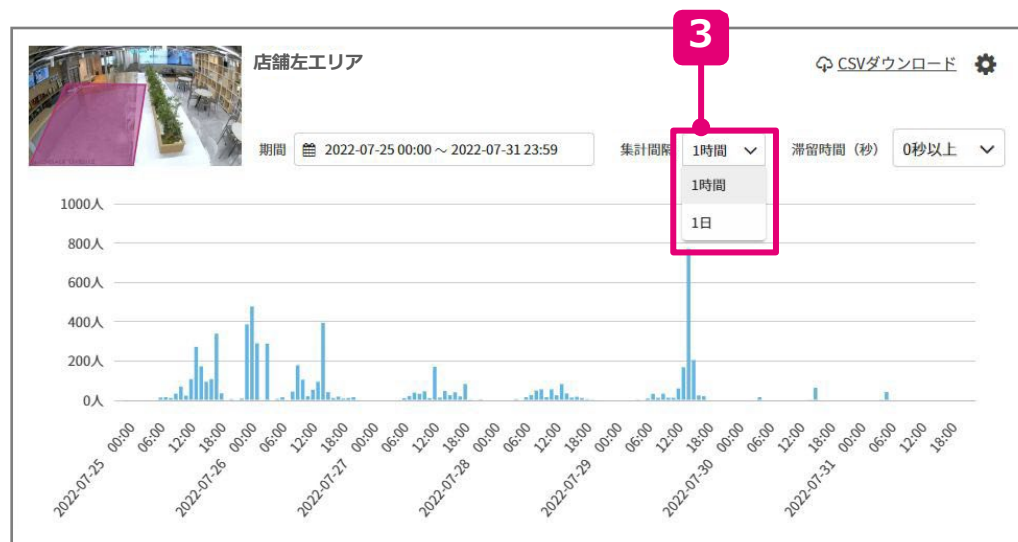
立ち入りカウント - 結果の確認ー集計方法②

選択した期間によって、選択できる集計間隔が変わります。



2 期間集計 : 8日以上で選択した場合

→集計間隔は、1日のみとなります

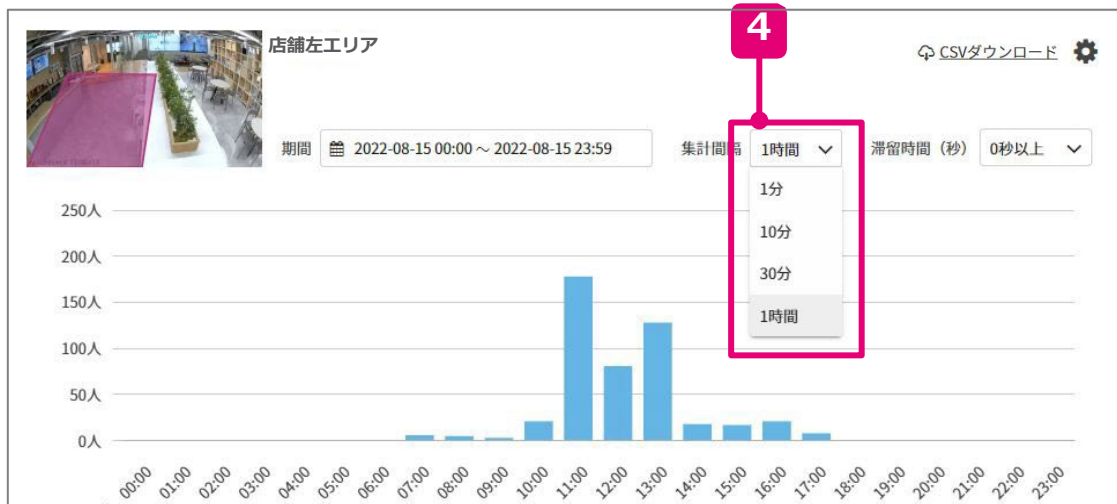


3 期間集計 : 2～7日で選択した場合

→集計間隔は、1時間か1日で選択が可能です

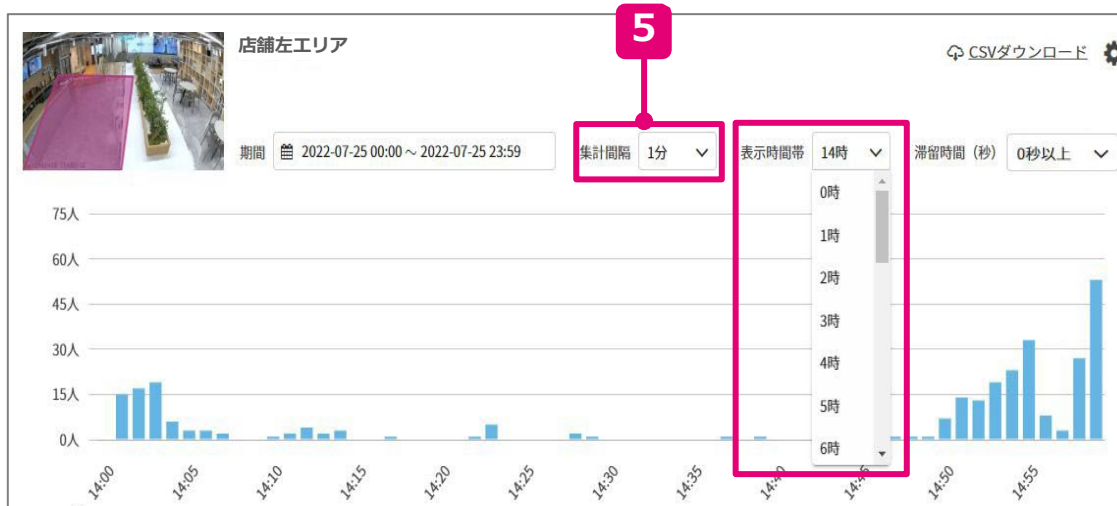
立ち入りカウント - 結果の確認ー集計方法③

選択した期間によって、選択できる集計間隔が変わります。



4 期間集計：1日で選択した場合

→期間間隔は、1分、10分、30分、1時間から選択が可能です

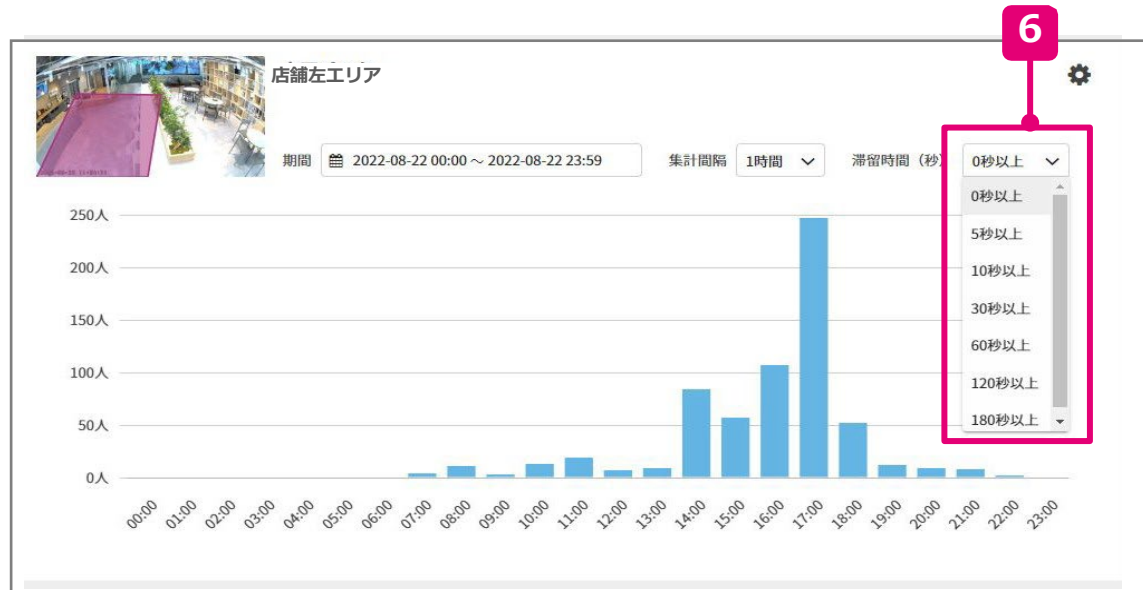


5 集計間隔を1分で選択した場合

→表示時間帯（1時間）を選択します

立ち入りカウント - 結果の確認ー集計方法④

滞留時間の選択をすることが可能です。



6 滞留時間

→滞留時間は、下記から選択が可能です
0秒以上、5秒以上、10秒以上、30秒以上、60秒以上、
120秒以上、180秒以上

立ち入りカウント - 新規設定

検知したいエリアを設定し、検知条件と通知設定の有無を選択します。

戻る

設定 立ち入りカウント

基本設定



1 エリア設定

エリア名を選択

2 エリアの登録・編集

3 設定名 64文字以内で入力してください。

設定名を入力 (最大64文字)

0 / 64

キャンセル 保存

1 エリア設定

既に作成済みのエリアを使用する場合は、選択をします。

2 エリアの登録・編集

新規でエリアを作成する場合、クリックします。
(詳細の設定方法は[P37](#))

3 設定名

設定名が入力可能です。

立ち入りカウント - エリアの登録・編集

検知したいエリアの作成と編集が可能です。

※設定の編集により、設定は残したままエリアの変更や修正をした場合、変更前のカウント結果に変更後のカウント結果が追加されていきます。



1 設定数

1つのデバイスで8個までエリアを登録することが可能です。作成したエリアは、立ち入り検知と立ち入りカウントの設定で使用が可能です。

2 新規作成

新規作成をクリックすると、右の映像内に、エリアを描画することができます。映像内でクリックすると描画がはじまります。ダブルクリックでエリアを確定します。

3 エリア名

エリア名の入力ができます。

4 編集

設定したエリア、もしくは、エリア名をクリックすることで、編集が可能です。

5 削除

設定をクリックすると、設定したエリアとエリア名の削除が可能です。但し、立ち入り検知もしくは、立ち入りカウントの設定で使用されているエリアの削除はできません。

6 保存

保存をクリックすると設定したエリアが保存されます。

立ち入りカウント - 設定の編集・削除

編集もしくは、削除したい設定の歯車アイコンから編集・削除に遷移が可能です。

※設定を削除すると、カウント結果を復元することはできません。

① Apps> AI-App> TOP> 歯車マーク

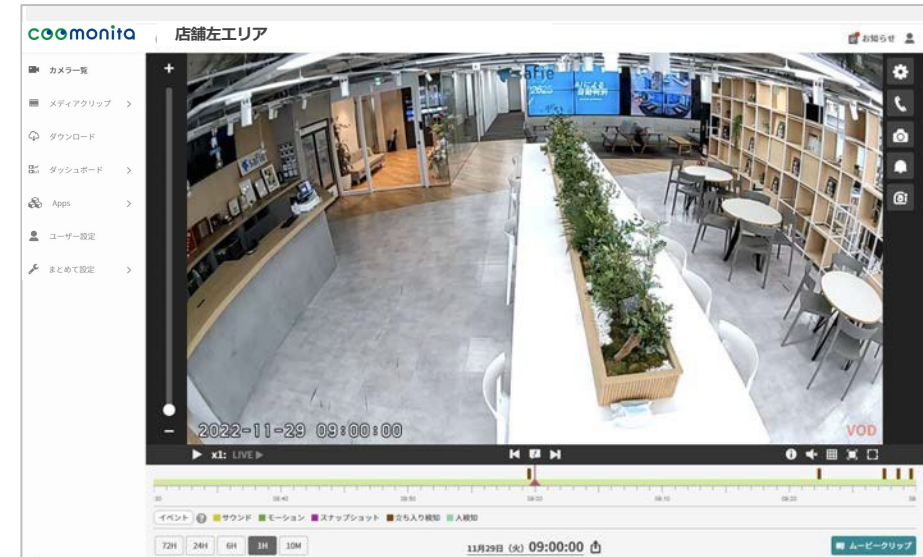


② Apps> AI-App> 立ち入りカウント> 歯車マーク



立ち入りカウント - 映像への遷移

棒をクリックすることで、クリックした集計の開始時の映像に遷移が可能です。
例) 9時台の場合、9:00:00の映像に遷移する

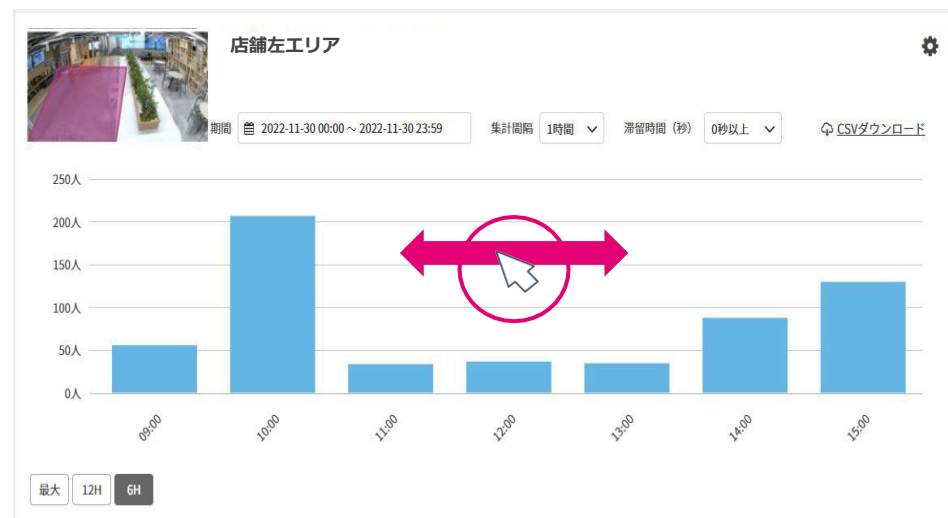
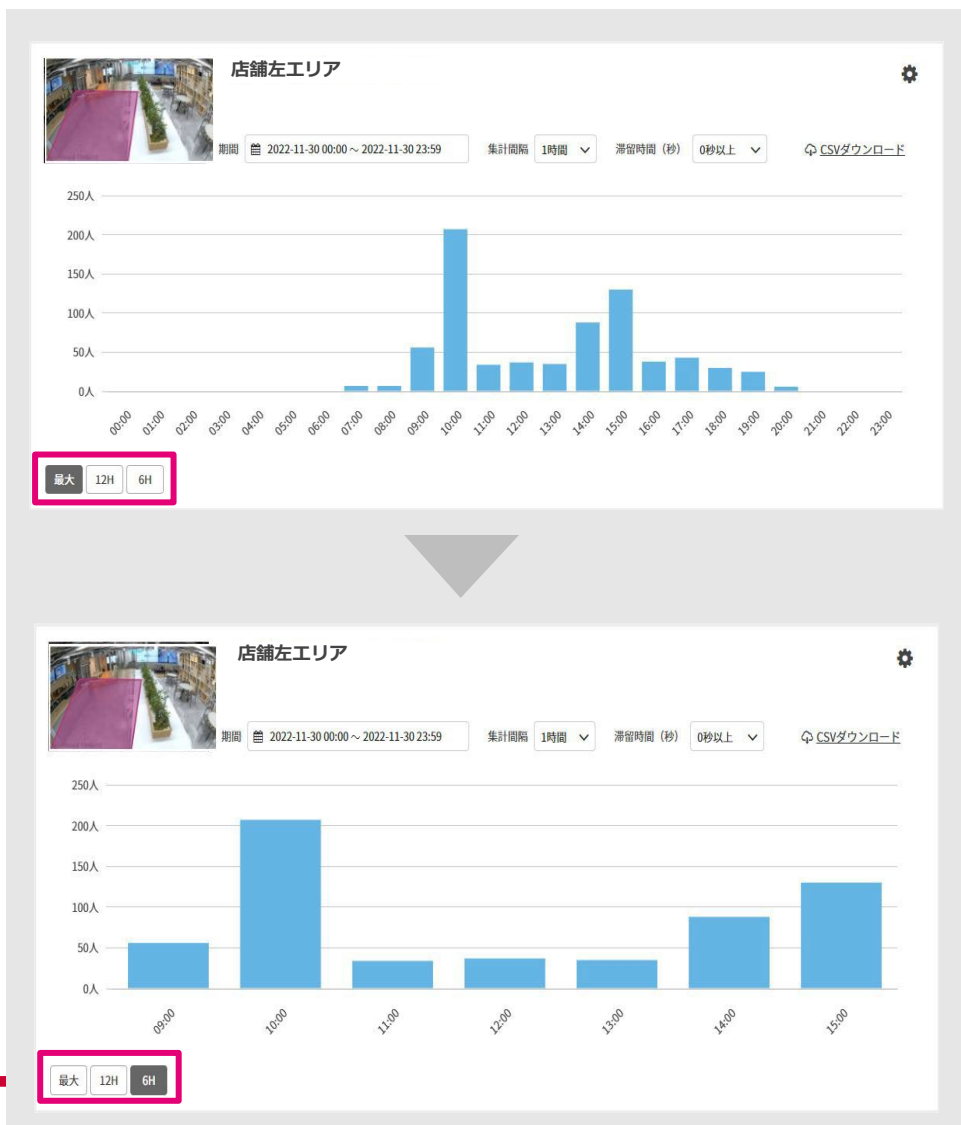


別タブで、映像に遷移します。

元のタブをクリックすることで、グラフが表示されているページに戻ることができます。

立ち入りカウント - 表示範囲の変更

表示範囲の変更により、グラフを拡大して表示することができます。



グラフが拡大された状態で、グラフ内をクリックしながら左右に動かすと前後の時間帯の結果を確認することができます。

「最大」を押すと、元のグラフの状態に戻ります。

CSVダウンロード

CSVダウンロードの方法

CSVダウンロード先は2箇所あり、それぞれダウンロードできる内容が異なります。

① Apps> AI-App> 通過人数カウントor立ち入りカウント> 各グラフ> CSVダウンロード



グラフにて選択した
「期間」「集計間隔」でのダウンロードが可能
※立ち入りカウントでは「滞留時間」も含む

② ダウンロード> ダウンロードタイプ> AI-Appカウント

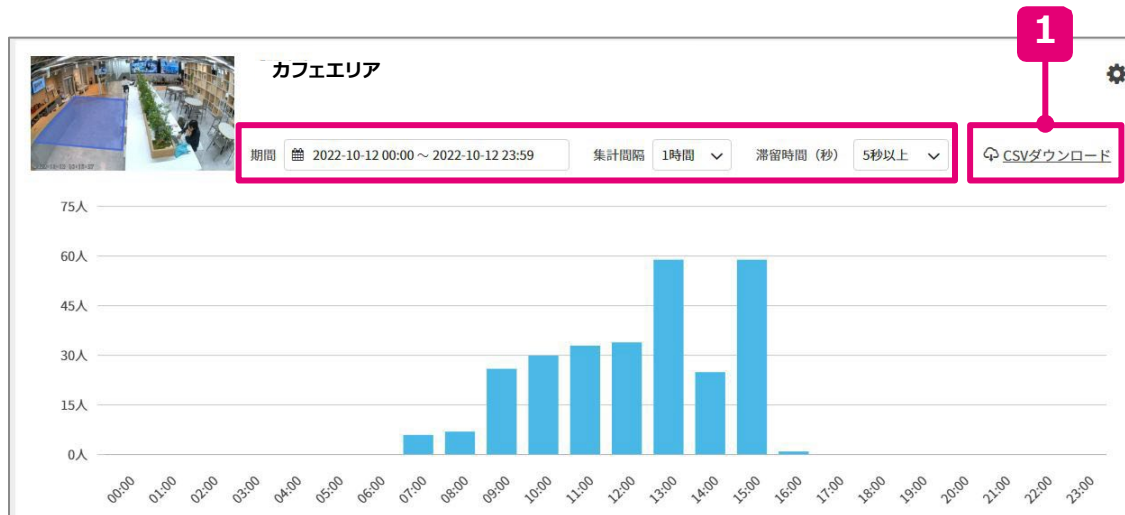
The screenshot shows the 'ダウンロード' (Download) page in the 'cocomonita' system. The left sidebar has a red box around the 'ダウンロード' button. The main content area shows the 'ダウンロードタイプ' (Download Type) dropdown set to 'メディア'. Below it, the 'メディアダウンロード' section is expanded, showing 'AI-Appカウント' as the selected option. The 'ダウンロード期間' (Download Period) is set to '2022-08-25 00:00 ~ 2022-08-25 01:00'. The 'データ名' (Data Name) is set to 'AI-Appカウント'.

複数デバイスのダウンロードが可能
「期間」の選択はできるが、「集計間隔」は一律で
10分、「滞留時間」は0秒

① CSVダウンロード - ダウンロードページ

グラフにて選択した「期間」「集計間隔」でのダウンロードが可能です。

※立ち入りカウントでは「滞留時間」も含む



1 CSVダウンロード

ご利用のデバイスにCSVファイルがダウンロードされます。

通過人数カウント

line_〇〇〇 (デバイスのシリアル)

立ち入りカウント

stay_〇〇〇 (デバイスのシリアル)

①CSVダウンロード - ダウンロードファイル（通過人数カウント）

グラフにて選択した「期間」「集計間隔」で集計されます。

	1	2	3	4	5
	A	B	C	D	E
1	timestamp	serial	camera_name	カフェエリア_IN	カフェエリア_OUT
2	2022/10/7 0:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0	0
3	2022/10/7 1:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0	0
4	2022/10/7 2:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0	0
5	2022/10/7 3:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0	0
6	2022/10/7 4:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0	0
7	2022/10/7 5:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0	0
8	2022/10/7 6:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	10	9
9	2022/10/7 7:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	13	11

1 timestamp

グラフにて選択した「期間」と「集計間隔」で記載されます。

2 serial

デバイスのシリアルが記載されます。

3 camera_name

カメラ名が記載されます。

4 各設定におけるINのカウント人数

集計間隔に応じた集計結果（人数）が記載されます。

例)7:00→13人

7:00:00～7:59:59に設定名「カフェエリア」で設定されたラインを
IN方向に通過した人数が13人

5 各設定におけるOUTのカウント人数

集計間隔に応じた集計結果（人数）が記載されます。

例)7:00→11人

7:00:00～7:59:59に設定名「カフェエリア」で設定されたラインを
OUT方向に通過した人数が11人

①CSVダウンロード - ダウンロードファイル（立ち入りカウント）

グラフにて選択した「期間」「集計間隔」「滞留時間」で集計されます。

	1	2	3	4
	A	B	C	D
1	timestamp	serial	camera_name	カフェエリア カウント
2	2022/10/13 0:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0
3	2022/10/13 1:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0
4	2022/10/13 2:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0
5	2022/10/13 3:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0
6	2022/10/13 4:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0
7	2022/10/13 5:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	0
8	2022/10/13 6:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	13
9	2022/10/13 7:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	21

1 timestamp

グラフにて選択した「期間」と「集計間隔」で記載されます。

2 serial

デバイスのシリアルが記載されます。

3 camera_name

カメラ名が記載されます。

4 各設定におけるINのカウント人数

グラフにて選択した「集計間隔」と「滞留時間」に応じた集計結果（人数）が記載されます。

例)7:00→21人 グラフで「滞留時間」5秒以上を選択している場合
7:00:00～7:59:59に設定名「カフェエリア」で設定されたエリアに
5秒以上滞留した人数が21人

②CSVダウンロード（複数デバイス） - ダウンロードページ

一度に複数デバイスのカウントデータをダウンロードすることが可能です。

ダウンロードタイプ: AI-Appカウント ▼

AI-Appカウントデータダウンロード

AI-AppカウントデータのCSVファイルを一括でダウンロードできます。

リクエスト作成

① デバイス選択:

カメラ名で検索

○○○○店店舗入口 左○
○○○○店店舗入口 右
○○○○店お弁当コーナー
○○○○店
○○○○店店舗入口 右

ダウンロードするデバイス (0台)

追加 >>
<< 削除
すべて追加
すべて削除

② ダウンロード期間:

開始日時: 2022-08-25 0:00 ~ 終了日時: 2022-08-25 1:00

③ データ名 (任意):

リクエストを送る

リクエスト一覧

ID	データ名	リクエスト期間	保存期限	ダウンロード
299	2022-08-19_16-34-15	2022-08-19 00:00 ~ 2022-08-19 01:00	2022-08-26 16:34:16	

1 デバイスの選択

ダウンロードしたいデバイスを選択し、「追加」を押すことで、右側の「ダウンロードするデバイス」に追加されます。
選択と追加を繰り返すことで、複数デバイスのダウンロードが可能です。

2 期間の選択

任意のダウンロード期間を選択します。





3 リクエストを送る

リクエストを送ると、リクエスト一覧にダウンロード結果が表示されます。

4 ダウンロード結果

ダウンロードアイコンをクリックすると、ご利用のデバイスにZipファイルがダウンロードされます。Zipファイルには、デバイスごとに、通過人数カウントと立ち入りカウントのCSVファイルが作成されています。

例) 2つのデバイスを1回でダウンロードした場合、1つのZipファイルに4つのCSVファイルが作成されます。

 line_000 (デバイスのシリアル)
 line_000 (デバイスのシリアル)
 stay_000 (デバイスのシリアル)
 stay_000 (デバイスのシリアル)

line : 通過人数カウント
stay : 立ち入りカウント

②CSVダウンロード（複数デバイス） - ダウンロードファイル（通過人数カウント）

設定したラインを通過した人数が10分ごとに集計されます。

	1	2	3	4	5		
	A	B	C	D	E	F	G
1	timestamp	serial	camera_name	カフェエリア左_IN	カフェエリア左_OUT	店舗入口_IN	店舗入口_OUT
2	2022/8/19 13:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	10	8	21	26
3	2022/8/19 13:10	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	5	6	25	10
4	2022/8/19 13:20	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	9	9	16	18
5	2022/8/19 13:30	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	4	5	9	10
6	2022/8/19 13:40	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	14	12	22	25
7	2022/8/19 13:50	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	13	10	39	33

1 timestamp

ダウンロードした期間かつ、データ保存期間の180日以内の日時が10分ごとに記載されます。

2 serial

デバイスのシリアルが記載されます。

3 camera_name

カメラ名が記載されます。

4 各設定におけるINのカウント人数

設定ごとに、10分間の集計結果（人数）が記載されます。

例)13:00→10人

13:00:00～13:09:59に設定名「カフェエリア左」で設定されたラインをIN方向に通過した人数が10人

5 各設定におけるOUTのカウント人数

設定ごとに、10分間の集計結果（人数）が記載されます。

例)13:00→8人

13:00:00～13:09:59に設定名「カフェエリア左」で設定されたラインをOUT方向に通過した人数が8人

②CSVダウンロード（複数デバイス） - ダウンロードファイル（立ち入りカウント）

滞留時間0秒以上のカウント人数が10分ごとに集計されます。
滞留時間の指定はできません。

	1	2	3	4	
	A	B	C	D	E
1	timestamp	serial	camera_name	カフェエリア左	カフェエリア右
2	2022/8/19 13:00	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	4	6
3	2022/8/19 13:10	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	3	5
4	2022/8/19 13:20	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	10	2
5	2022/8/19 13:30	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	5	1
6	2022/8/19 13:40	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	10	0
7	2022/8/19 13:50	00099A062EF0	〇〇〇〇〇店	3	3

1 timestamp

ダウンロードした期間かつ、データ保存期間の180日以内の日時が10分ごとに記載されます。

2 serial

デバイスのシリアルが記載されます。

3 camera_name

カメラ名が記載されます。

4 各設定におけるカウント人数

設定ごとに、10分間の集計結果（人数）が記載されます。

例)13:00→4人

13:00:00～13:09:59に設定名「カフェエリア左」のエリアに滞留時間0秒以上いた人数が4人

